

特集

【世紀の】ダイトウウグイス【大発見】

米村でんじろうサイエンスショー・奄美ミュージアム
大喜慶義さん

母子寡婦福祉会総会

メダカの学校・くじら漂着なぜ多発？・上嘉鉄小植樹
カンキツグリーンニング対策に協力を

町職員募集・情報防災無線を携帯で

夏まつり告知

すこやかニュース

教育委員会のとびら

くらしのインフォメーション

花言葉募集

喜界歌壇・戸籍の窓

今月の花・編集後記

報 広

きかい



No. 492

6

平成20年

(2008)



今回発見されたダイトウウグイスとその卵
2点とも国立科学博物館提供

世紀の大発見

絶滅種「ダイトウウグイス」～最後の楽園～喜界島で多数定着を確認

写真説明

86年前に大東島で初確認されただけで、忽然とその姿を消したダイトウウグイスが喜界島で確認された。
文字通り大発見といえる。

アクセス回数が一日平均500回の町HPであるが、全国紙で報道された5月21日の翌日は、何と4倍強の2258回ものアクセスがあった。はからずも彼らが町のアピールに一役買ってくれた格好だ。

本土より遠く離れた大東島や、山深い奄美大島でさえ、未確認の彼らが、「安住の地」と選んだ喜界島の素朴な自然。アピールをしたいが、彼らはそと見守っていきたい。

絶滅種「ダイトウウグイス」喜界島で生息

～本町では以前から認識も 国立科学博物館が正式に確認～

季節はずれの美声 その正体は「ダイトウウグイス」

絶滅したとされるダイトウウグイスが、喜界島において五月二十一日に国立科学博物館により確認された。

「うぐいすのなく野辺ごとにきてみれば うつろふ花に風ぞ吹きける」

(古今和歌集 詠み人知らず)

と詠まれたように、ウグイスは、古来より日本人にとっては馴染みの深い鳥であり、喜界島においても、シマユミタで「チャツチャー」や「チツチャー」と呼ばれ親しまれてきた。

ダイトウウグイスの存在は知ら



れていなかったため、渡り鳥であるウグイスが冬季を過ぎて一年中美しい声を聞かせるようになったことを町民は、「シマが気に入ったのか、最近の地球温暖化で季節感をなくしたのか」などと話していたという。

また、八年前の六月には稲津文昭さん(川嶺)がウグイスの巣とヒナを発見し、本誌でも紹介された。現場で鳥獣保護を担当する伊地知告主幹は、「発見された季節から、ダイトウウグイスの巣である可能性が極めて高い」と話す。

国立科学博物館の濱尾章二理学

博士(鳥類行動生態学)は、「見つけた鳥を捕獲して調べると、羽が緑色の本州のウグイスと異なり、赤褐色が強いなどダイトウウグイスの特徴を確認した。巣は7つ見つかかり、枯れ草を集めて作られた楕円形で長径は約20センチ。1つ当たり4から5個のチョコレート色の卵が見つかった。複数の巣が近い場所に集まり、1羽の雄の縄張りに複数の雌が営巣する一夫多妻で暮らしている可能性がある。オス10羽、メス5羽に足輪を付けて放鳥したので、これまで

うぐいす色ではなく赤褐色



巣とヒナ

(国立科学博物館提供)

謎だった生態の解明につながるのでは」と話し、「喜界の個体はごくたまに小声で『ホーホホ』と鳴くことも確認できた」と付け加えた。

今回の大発見に伊地知主幹は、「この件を報道する全国紙の電子版には本町のホームページもリンクされたので、バードウォッチャーが来島するなど観光面で期待できる。また、大東

島は沖縄本島より喜界島に近く、フィリピン海プレート

の活動により年間7cmというスピードで喜界島に近づいている。何かしらの縁があるのだろう。大変な口

マンを感じる」と話した。

※

ダイトウウグイス

一九二二年に南大東島で初めて2羽が捕獲された際に、本州種のウグイスに比べて褐色味が強く、くちばしが大きく、翼が短い特徴から、新亜種として登録されたものの、それ以降は記録がない。

現在の大東島に生息するウグイスは、本州種や小笠原種の亜種であると報告されたことから、環境省が発行する絶滅のおそれのある野生生物について記載した「レッドデータブック」には現時点で「絶滅種」と記載されている。

ちなみに、ホトトギスの托卵対象であるため、ダイトウウグイスを追ったホトトギスも島で見られるようになった。「托卵」については編集後記を参照)



平成12年7月号 (16)

▲青社年スローピッチ大会



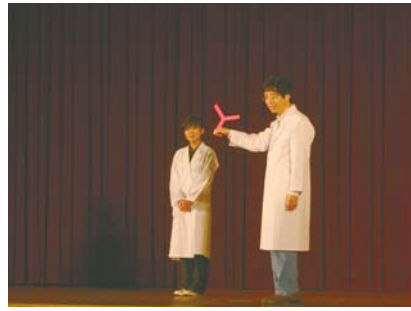
▲探しても見つからないのが難しいウグイスの巣。稲津文昭さん(川嶺)が畑そばの敷居棟中に発見

6月の
スナツプ

以前にも確認された巣
本誌 平成12年7月号より

ワクワク〜ドキドキ!!
米村でんじろう

サイエンスショー



プーメランに大興奮!

ろう式プーメラン」では、「みんなも簡単に作れますよ」と作り方の説明をしながらプーメランを投げ、それが大きくカーブを描いてでんじろう先生に戻ってくる、チビッコ達は「すごい!」と大喜び。監視役の親たちも「任務」を忘れ、思わず身を乗り出して見入るほどだった。

テレビでお馴染みの米村でんじろう氏による、科学とエンターテイメントが融合した「米村でんじろうサイエンスショー」が(財)奄美広域中小企業勤労者福祉サービスセンターの主催で5月23日、町体育館で開催された。

前売り券は早々に完売し、会場前には当日券を求める行列ができるほどで、会場内は907人(有料入場者数)の親子連れなどで大入り満員となった。

「さあ、開演時間だ!」

すでに興奮状態のチビッコ達の歓声を浴びながらでんじろう先生が姿を現すと、一気に会場のボルテージが上がった。

最初の出し物である「でんじ



お待ちかね空気砲

つづいては、お待ちかねの「空気砲」。箱をたたくと遠くまで空気の固まりが飛んでいくことにチビッコ達はビックリ。でんじろう先生は「この空気はウズを巻いているからまっすぐ飛ぶのです」と説明し、練香のけむりで見やすくした空気に、からまった紙切れが回転しながら高く飛んでいくと二度ビックリ。

その他にも、クラシック音楽や津軽三味線を用いた音の実験



「おとぎの世界」のような風船乱舞

や、科学実験をからめたコントなどで大いに会場を沸かせ、最後は幻想的なジャンボ風船の乱舞でショーはフィナーレを迎えた。

ショーの感想を、生田碧さん(8才)は「変な空気を吸うと声が変わるのが不思議だった。ワクワクしたので、またきて欲しい」と話し、竹下耕大くん(7才)は「最後に大きな風船が爆発しないかドキドキした。先生よりプーメランを上手になりました!」と元氣よく話した。

また、ショーを終えた米村でんじろう氏は「初めての離島ということで不安がありました。が、都会の子どもにはない、堂々とした島の子どもの元氣な姿に感動し、不安が一気に無くなりました。逆に子ども達に色々なことを教えてもらいました」と丁寧に感想を話した。

ふるさとを学ぼう!

第1回奄美ミュージアム講座

「癒しの島あまみ(奄美アイランドセラピー)」を基本理念に、持続可能な地域振興を目指すことを目的とした奄美ミュージアム人材育成事業の一環として「第1回喜界島地区講座」が奄美群島広域事務組合の主催で5月16日、役場コミュニティホールで開催された。

第1回は、「奄美諸島近代初期の行政変遷とその背景」大島県構想と大支庁制」と題して、喜界町史の編さん委員も務めた弓削政己氏(奄美医療生協常務理事)が講師をした。

最初に弓削氏は「私の出身は沖永良部の知名で、大島や徳之島と違い、喜界は言葉や地形が似ているので、大変親しみを感じます」と話し、講座が始まった。

講義内容

明治維新を迎え、奄美の行政制度は試行錯誤を繰り返した。その歴史の表面をなぞるのではなく、何故そうなったか、背景に注目することが重要である。

明治7年、砂糖の貿易赤字に悩んでいた政府の案として、黒

糖の産地である奄美を「大島県」として直轄地に編入する構想があったが、薩摩藩時代に奄美の黒糖で得た財力で倒幕を果たした鹿児島県は、政府中枢にいた大久保利通をとおして影響力を発揮し、実現には至らなかった。

また、明治二十年には、村落名の一部変更もあり、嘉鉄を上嘉鉄、朝戸を大朝戸とした。理由は、名瀬に近い同名の村落があったため。同様に、与論の間は喜界より遠いため、那間に変更されている。

受講した濱川孝久さん(志戸桶)は、「弓削さんの名前はよく聞いていたが、講話を聞くのは初めて、やはり大変興味を引かれた」と話した。

なお、第2回の講座は、黒田美奈子氏を講師に「シマユミタで語る私の青春」と題して、7月18日に同所で開催される。



熱心に耳を傾ける受講生

ただひたむきに ひとすじに・・・

志戸桶 ^{だいき}大喜 ^{けいぎ}慶義さん (77)

還暦を過ぎて十七年、志戸桶集落内にて
いまも環境整備活動をつづける

志戸桶集落内の公共施設で、環境整備作業に精を出すお年寄りを見かけたことはないだろうか。年齢や身体へのハンデを感じさせずに、黙々と作業を続ける。その人こそ大喜慶義さんである。

今回、目立つことを良しとせず、無償の精神で活動を続ける大喜さんを説得し、「今月の顔」として取り上げた。

大喜慶義さんは、昭和六年二月五日、志戸桶にて父・喜慶さん、母・ウメさんの間に産まれた。

今も整備を続ける水源地（通称：せんたく場）の水を、産湯に使ったという。

幼少の頃に、原因不明の病に襲われ、右足の自由を失い、以後数十年の松葉杖生活を送る。

成人してのち大阪に出て、ミシン工として従事し、生来の真面目さから将来を嘱望されたものの、昭和三十四年、三十一才の時に帰郷する。

しばらく竹細工加工業を営んでいたが、縁あって峰山建設のプラントで、事務員として勤務することになる。

繁忙期のある日、資材の積み下ろしがあつた時に、事務員とはいえ、黙って見ていられたかった大喜さんは、松葉杖を突きながらも、作業の手伝いをした。やはり松葉杖が邪魔になったのだろう、気がついた時には、松葉杖なしで作業していたという。以来、足を引き

ずりながらも、松葉杖は不要となった。

その間、峰山建設で勤務しながら、昭和四十年から五十九年の十九年間を、集落区長として務めた。

区長在任中は、「実践が伴わないと意味がない」、「最後までやり通さないと気が済まない」との考えから、目の前の諸問題に取り組み、他の集落に先がけて、街灯を白熱電球から蛍光灯へ変更するなどした。

また、青少年育成会長を務めていたこともあり、昭和四十七年には、今も続く当時としては珍しい、集落運動会も音頭を取って開催している。

「十九年間の区長時代には、集落民の方々に物心両面から大変お世話になり、自分ひとりではできなかつた。いつか恩返しをしたい」との思いから、平成四年、峰山建



「顔は男の履歴書」日に焼けた笑顔に刻まれたシワが、これまでの人生を語る



作業を続ける。手前は「通勤」するための愛車

設を勤め上げたのちに、志戸桶グラウンドの植栽のせん定、草取り、植樹などの整備を始める。

すぐに、隣の公園や、水源地、公民館、菅原神社、一般道、小学校など、範囲が広がっていった（编者註：それぞれの場所への深い思い入れも取材しましたが、誌面の都合上省略します）。志戸桶小学校

喜さんは、「やはり、集落の皆さんに恩返しをしようと思えば、自分のできることは、これしかありません。なぜかと聞かれても困りますが、体が少しでも動く限りは続けます」と話し、「まあ、いい健康づくりにもなりますよ」と笑う。

妻のカツエさんは、「本人が好きでやっていますので、何も言いません。資材や苗木なども、自分の小遣いで買っていますので、好きなようにさせてあげるのが一番です」とほほえんだ。

「なぜば成る」、「継続は力なり」という、まさに言行一致の信条を掲げる大喜さん。八人の孫の「おじいちゃん」でもある。

民生委員や自然保護監視員を務めるなど、今も現役の第一線で活躍する。

秀教頭は「私たちより手際よく、いつも助かります」と感謝する。

なぜ、ここまで頑張れるのかと聞かれた大



自ら整備したグラウンドで地元の子どもたちと



あいさつする進リウウ子会長

喜界町母子寡婦福祉会（進リウウ子会長）の第三十一回総会が、平成二十年五月十日、役場コミュニティホールで開催された。

秩父宮妃殿下御歌「母に幸あれ」を斉唱したあと、あいさつに立った進リウウ子会長は、「不透明な社会情勢にあつて、社会的に弱い立場に置かれやすい母子寡婦家庭には、厳しい環境が続いています。そんななかにあつて、昨年の九月一日に、奄美市住用の奄美アイランドにて、『母と子の交歓研修会』を開催しました。動物園や水族館などで、喜界島では見られない動物に触れたり、ミニ電車に乗ったりと、親子のふれ合いを

楽しむことができました。『自分たちの幸せは自分たちで』『自分たちは今何をすればよいか』を合言葉に、これからもお互いの協力と、関係機関のご理解をよろしく願います」と話した。

議事では、活動報告や計画、決算や予算、役員体制などが審議され、了承された。

議事終了後に、砂川福恵さん（赤連）の講演があり（下記参照）、最後に全員で「四季の歌」を合唱し、総会は終了した。

母子寡婦福祉会では、次の受講生を募集しています。

- ・パソコン3級
- ・訪問介護員（ヘルパー）2級
- ・子育て支援（母親が急病になったときのなどに支援をするため）

これらの講習会の開催要件は最低20人となっております。就職活動や、日常生活支援に活かしてください。

※受講料は無料です。受講資格は、母子寡婦福祉会会員以外でも、母子家庭などひとり親の方も参加できます。

問い合わせ先

役場保健福祉課

TEL 65・1111（内線35）

進リウウ子さん

TEL 65・2013

気軽にお電話ください。

「私の人生、心からの出発」

講師 砂川福恵さん

講演内容

皆さんこんにちは、私は砂川秀秀です。去年に砂川福恵になりました。平成11年に中国の黒竜江省から日本へ来て、赤連で治療院をしている夫の至さんと二人三脚で頑張っています。中国に両親と兄弟が4人います。みんな親孝行していて、私もうれいのです。さらに23才の息子もおり、1才の孫娘もいて、幸せに暮らしています。なぜ私が日本に来ることになったかという、中国はひとりっ子政策がある、もう産めません。その時、結婚したい男性（至さん）が日本から来るので、会わないかと誘いがありました。最初は至さんの目が不自由なこともあり不安でしたが、至さんや家族の写真を見たら、なぜか運命を感じ、結婚しようと思えました。

喜びと期待、寂しさと不安を抱えたまま日本に来ました。日本に来て最初の朝食は、鹿児島空港そばのホテルでした。みんな生卵を食べてました。中国ではあり得ない・・・日本は文明が発達して都会的だと思っていたのに、なんて野蛮なんだろうと思いました。でも今では生卵は大好きです。

喜界島に着いてしばらくは、なれずに眠れない日が続きました。そんな時は、海へ行って「お母さん助けて。早く日本語上手にして」と泣き叫びました。波の音が私をなぐさめてくれました。しかし、「人間はいつでも頑張らなければいけない」と、つらさをバネにして努力しました。家じゅうに単語を書いた紙を貼って日本語を覚えました。至さんも動作をして、その日本語を一生懸命教えてくれました。

そうして日本になれてきた頃に、家族のおかげで、中国の両親を呼ぶことができました。両親は、喜界の人の親切さと、自然の美しさに「天国の島」と言いました。

その頃から、公民館で中国語を教えるようになり、運転免許の勉強もしました。もっと努力が必要になりました。お陰様で、外国人第1号で免許を取りました。

また、診療所で介護の仕事も始めました。頑張つて介護士の資格も取りました。これは義母の介護にも役立ちました。でも、その大好きな義母も一昨年亡くなりました。その時、私は息子の結婚式のために中国にいました。連絡をくれた夫は「未来ある息子の結婚式を終えてから帰らなさい」と言いました。義母は、夫が見舞いに行くと「秀秀は？」といつも聞いていたそうです。私はたくさん泣きました。色んなつらいこと、楽しいこ

とがありました。いま、とても幸せに暮らしています。

そして、とうとう天にも昇る様なことがありました。日本国籍が取れたのです。名前は義母の「とみ」からもらいました。

みなさん、つらいときも笑顔で頑張りましょう。私だつてできました。家族、友人、同窓生（37年生）、皆さんに本当に感謝しています。

これからも、美しい喜界島を作るために一緒に頑張ります。私をもっと色々頑張ります。

本日は有り難うございました。



機織りも「君子ネエ」に教えられて上手ですよ！

話題



♪メダカの学校は「池」のなか♪

環境省のレッドデータブックで絶滅危惧種に指定されているメダカが、喜界島のとある池で確認された。

文献によると、北海道を除く各地の水田や小川に多く生息していたが、農薬や生活排水の流入、護岸工事による産卵場所の減少などにより、その数を減らしていったという。また、減少に決定的に追い打ちをかけた理由が、メダカに似る外来種であるカダヤシ（蚊絶やし）との生存競争に負けたためだという。



メダカの学校の「生徒」たち

ブラックバスやブルーギルなどの魚類に限らず、ほ乳類や植物も外来種により在来種が駆逐されている例は多い。

喜界島でも稲作がさかんだった頃はドジョウと並び普通に見られたが、昭和45年に政府による減反政策が本格的に始まり水田が減少していくにつれ、その姿も消えていったという。例に漏れず、島内のため池やウツカーにいるメダカに似る魚はカダヤシやグッピーだという。

また、メダカは生息地域ごとに遺伝的差異が詳しく研究されており、今回取材した池を管理する男性は、「南日本系か琉球

メダカ(オス)



シベシが長い

カダヤシ(オス)



オビシが丸い

メダカ(メス)



写真と見比べてください。

カダヤシ(メス)



グッピーのメスに似る

メダカとカダヤシの見分け方

系か、大変な興味がある」と話し、「この池は何十年と大切にしており、品種改良された売りのヒメダカなどは入れないようにしてきた。どうかそつとして欲しい」と付け加えた。

いつかテッペンにのぼるぞ!

昨年、創立一三〇周年を迎えた上嘉鉄小学校(積山泰夫校長)が、記念事業の一環として五月十四日、手久津久にてナンヨウスギと喜界島の保護蝶オオゴマダラの食草であるホウライカガミの植樹を行った。

役場林務担当から「ナンヨウスギはすぐく高くなり、外国では60mまで成長しています。向かいにある旧大和製糖の煙突が30mなので、追い抜くかも知れませんがね。ホウライカガミ

はオオゴマダラが集まってくるので、チョウチョの森になるでしょうね。みなさんが、おじいさん、おばあさんになっても木は成長するので、大事に植えてください」とお話しがあり、森林組合職員から植樹方法の説明もあった。

なかなか土が掘れない児童たちだったが、一時間ほどで用意された100株の苗を植え終え

た。四年生の幸得優輝君は、「一年生の手伝いもしたので難しかったけど、木が大きくなったらテッペンまで登ってみたいです」と話した。

なお、苗の購入資金は町民からの寄付による「緑の募金」が利用された。



手伝ってあげるからね。

なぜ?多発するクジラ漂着

体長約5mのマッコウクジラが、5月上旬に中間海岸に漂着し、まもなく息絶えた。

役場住民課衛生担当によると、今年は荒木につづいて2頭目、昨年も数頭のクジラが漂着しているとのこと。



中間海岸に打ち上げられたクジラ

クジラは寿命を迎えると海底に沈むといわれるが、サメに襲われたり、病気などで体力を消耗すると、潮に流され陸に漂着する。また、健康体が集団で漂着することがあるが、地球の磁場の乱れ、異常気象、耳の寄生虫などが原因といわれるが、詳しくは解明されていない。さらに、餌となる魚やプランクトンを追って、岩礁や海岸に打ち上げられることは「座礁」と呼ばれている。

役場衛生担当では、「昔は打ち上げられたクジラは貴重なタンパク源だったが、食用にすることは法で禁じられている。今回の原因はわからないが、寄生虫やウイルスなどの影響も懸念されるので、もし発見したら速やかに役場へ連絡していただきたい」と呼びかけている。

カンキツグリーニング病対策へご協力ください！

大切なシマの財産を後世へ残すために！

1. カンキツグリーニング病とは

カンキツグリーニング病はクリフアーやタンカンなどのカンキツ類に発生する不治の病気で、感染すると数年の内に枯れてしまいます。近年、亜熱帯地域を中心に世界各地で感染が確認されており、世界的にカンキツ産業の脅威となっています。

が開始され、喜界町では平成15年12月に大朝戸集落で感染樹が初めて確認されました。その後、現地調査を重ねた結果、発生はこれまでのところ大朝戸集落の12地点のみで、これらの罹病樹は所有者のご理解を頂き全て伐採を完了しております。

3. 感染の原因と特徴

本病の感染は罹病樹から採取した穂木の接ぎ木や、ミカンキジラミという3m程度の小さな昆虫が罹病樹の樹液を吸汁し、健全樹に本病バクテリアを媒介することが原因となっています。



発症前

発症後

2. 発生の経緯

国内では沖縄県で昭和63年に初めて確認され、鹿児島県では平成14年4月に与論町で初めて罹病樹が確認されました。これを受けて平成15年から国、県、市町村の協同調査



ミカンキジラミの成虫

多くの場合、ミカンキジラミは同じミカン科の植物であるゲッキツ（ジツチューギ）の新芽で増殖しますが、意外なことにゲッキツはカンキツグリーニング病に感染しないことがわかっていました。

4. 本病の防除対策と根絶へのアプローチ

(1) 計画的なモニタリング調査の実施

喜界町では罹病樹の発生した地点を中心に平成19年から4年間、再発生の有無について年3回の現地調査を実施しているところですが、同様に発生地域以外の集落でも島内の全てのカンキツについて病気の樹を見逃さないように現地調査を実施しています。調査の際に病気が疑われる樹からサンプルを採取し、PCR検定により遺伝子を調べて罹病樹の有無を確認しています。

(2) 罹病樹の伐採

罹病樹は枯れるまでに数年を要しそのままでは病気の発生源となるため、ミカンキジラミが周囲のカンキツに病気を広げないように迅速な伐採が必要とす。

(3) ミカンキジラミの一斉防除

大朝戸・西目集落ではミカンキジラミが飛翔するとされる半径500mの範囲に、集落の代表や関係機関の協力



type III
(退緑黄化)



type II
(葉脈網目状に残る)

で年3回一斉防除を行っています。なお、防除については周辺環境に配慮し、毒性が低く残効性に優れる農薬を厳選し、成虫数が多くなる4月と7月、さらに翌春の発生を少なくするため12月に実施しています。

(4) 罹病樹の周囲のカンキツやゲッキツの伐採

喜界町では国の事業を活用して罹病樹を中心とする半径5m範囲のカンキツ（潜伏感染が疑われる樹）も同時に伐採して、感染防止に努めています。また、集落皆様の御協力によりミカンキジラミの発生源となるゲッキツの伐採にも取り組んでいます。

(5) 接ぎ木、苗木の移動の自粛

喜界町では防除に関する様々な取り組みを進める一方で、発生集落から他の集落へカンキツやゲッキツの移植を

しなように、リーフレットやポスターを作成して住民への協力と理解をお願いしています。

5. 最後に

喜界町では農林水産省の協力で、平成19年4月から「カンキツグリーニング病根絶防除事業」を導入し、本病の根絶を目標とした活動を4年計画で進めています。現在、集落の皆様の御協力により事業2年目を迎えておりますが、ミカンキジラミの防除効果や伐採による感染のリスク低減など根絶への手応えを関係者一同感じております。世界初の快挙となるカンキツグリーニング病の根絶が一日も早く達成できますよう、今後とも町民皆様のご協力をよろしくお願いたします。



ミカンキジラミの一斉防除

町職員募集

平成20年度 喜界町職員採用候補者試験を次のとおり行ないます。

◇試験名 初級（高校卒業程度）

◇試験区分 一般事務

◇採用人員 若干名

◇受験資格

昭和56年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた者で高等学校以上を卒業した者（平成21年3月卒業見込みの者を含む）

◇第1次試験日時・会場

平成20年9月21日（日） 役場コミュニティーセンター

◇申し込み受け付け期間

平成20年8月7日（木）～8月21日（木）

*郵送の場合は当日消印有効

◇問い合わせ先

申込用紙など、詳しくは役場総務課へおたずねください

電話 0997-65-1111

ご存知ですか？防災無線を携帯電話メールで受信できます！！

利用方法

1. 喜界町ホームページにアクセスします
2. 一番下にある **防災無線放送** をクリックします
3. 見出し2行目の「メールアドレスの登録・解除は**こちら**から。」をクリックします
4. 「全て受信」にチェックを入れて、メールアドレスを登録すれば完了！

「**こちら**」をクリック

「全国どこでも 島の情報をゲットしよう！」



第27回 喜界町夏まつり

8月2日3日に開催



8月2日(土)

相撲大会(町相撲場)
歩行者天国(湾・赤連商店街)



8月3日(日)

ミコシ・綱引き
フネインカー競漕
漁船海上パレード(湾漁港)
婦人会踊り
八月踊り
演芸ショー
花火大会



ボランティアスタッフ大募集!!



喜界町夏まつり協賛会では、喜界島の夏の風物詩「喜界町夏まつり」に一緒に参加していただけるボランティアスタッフを募集します。

蝶の飛び交う隆起珊瑚礁の島で、協賛会メンバーと共に「祭りを創り上げる感動」を体験してみませんか？

・お手伝いしていただく、主な仕事内容

★交通整理 湾赤連商店街・スギラビーチ会場周辺の簡単な交通整理です。
※弁当・飲み物等は、協賛会で準備いたします。

応募資格 16歳以上の方(ただし、高校生は保護者の承諾が必要です)。

応募方法 喜界町役場企画課で、お申込みください。

応募締切 平成20年7月23日(水)

・連絡先

喜界町夏まつり協賛会事務局(喜界町役場 企画課内)

〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地

TEL: 0997-65-1111

FAX: 0997-65-4316

Email: kikaku-1@town.kikai.lg.jp

**健康な歯は
健康な体の条件**

去る五月十八日、喜界町地域婦人連絡協議会総会の会場において、県8020運動推進員でもある食生活改善推進員の皆さん（通称：食改さん）が寸劇を披露する一幕がありました。

各年代の女性が集まる会場でぜひ聞いて頂こうと行なったこの活動は、喜界町の乳幼児の虫歯罹患率が多いことを受けて、虫歯予防普及啓発の目的で食改さんが取り組んでいるものです。何と言ってもこの寸劇の特徴は、全てが食改さん手作りという事。お面や小物はもちろんのこと、台本もオリジナルです。子ども達の歯を取り巻く様々な環境を、面白おかしく、時には皮肉を交えてストーリー仕立てにし、島口ナレーションで披露しました。

地域ぐるみで取り組む事の大切さが、きつと伝わったことでしょう。それにしても、この寸劇でのPR、新しい啓発方法として注目です。



「ハンセン病を正しく理解する週間」のお知らせ

6月22日～28日は、ハンセン病に対する正しい知識を広めるための週間です。ハンセン病とは？

☆ハンセン病は、らい菌による慢性の細菌性感染症の一種です。

☆感染力は極めて弱く、発病することはまれです。

☆早期発見と早期治療により、

短期間で治癒する病気です。☆わが国に感染源となるものは、ほとんどありません。☆元患者であった方々の身体の変形は後遺症です。

国の誤った隔離政策によって、長い間、偏見や差別に苦しめられた元患者であった方々が、平穏に安心して生活できるようみんなで正しい理解の輪を広げましょう！

「あまみの生活習慣病予防と長寿に関する研究」にぜひ参加を！

今年の7月26日から行われる「厚生連健診」と10月22日からの「医師会健診」において、健診を受けられる35歳から69歳までの方々を対象に、鹿児島大学医学部による「生活習慣に関する詳しい調査」（健診問診票と共に事前に届きます）と「採血の追加（健診と同時に）」、「動脈硬化の測定」5分ほど」が予定されています。またとないよい機会ですのでご協力下さい。

先日は、一括申し込み書の提出にご協力いただきありがとうございました。ご協力ありがとうございました。「健康だから大丈夫」との回答を下された少数の皆様へ...

精神障害者への理解を！

「だからこそ健康診査を積極的

代表的な病気である統合失調症にかかる人は約100人に1人と言われており、決して特別な病気ではありません。また、県内の精神科病院に入院中で受け入れ条件が整えば退院可能な精神障害者は700人程おられるそうです。

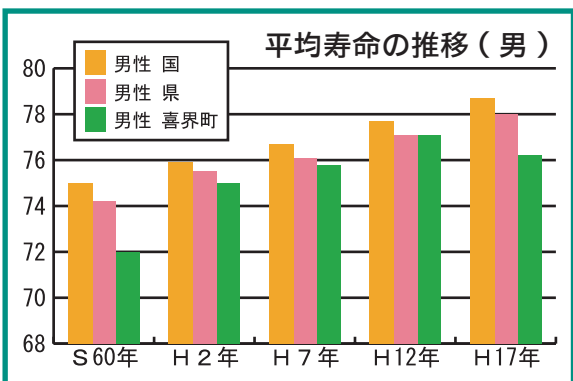
治療の継続とリハビリで徐々に回復しますが、素直でまじめな反面、人付き合いが下手であったり、集中力が続かなくなったりなど生活のしづらかさの障害が残ります。家族や地域の理解と温かい見守りによって地域社会で安定した生活をおくることができます。

身近におられる精神障害者の方への理解を深めていただくための研修会のお知らせです。

『精神障害者退院促進のための基礎研修会』

【日時】7月16日（水）

午前9時～12時



最新の情報です。対策を検討する必要があります。

喜界町の男性の平均寿命短くなる？

【主催】県大島支庁

【対象者】民生委員、他一般住民の方

②精神科病院に入院経験のある方の体験談

【内容】①講話「精神障害を持つ人のために」～講師 オフィス夢風舎 土屋徹氏（国立精神・神経センター研究員等を経て全国で活動中）

【場所】喜界町役場コミュニティセンター

平成20年度喜界
町PTA連絡協
議会総会

5月10日、喜界高
等学校で標記協議会
総会が開催されまし

た。

開会行事で町P連表彰があ
り、本町において特に顕著な
功績をあげた2個人が表彰さ
れました。



町P連会長から表彰を受ける梶原上
嘉鉄小PTA会長

また、総会では平成20年度
事業計画(案)並びに予算
(案)とともに承認されたほか、
共通研究テーマを「子どもに
家庭学習の習慣化を身につけ
させるためには、学校・家庭
の連携や取り組みはどうすれ
ばよいか。」と設定し、児童
生徒の学力向上を図ることを
決議しました。

【被表彰者】

- ・園田 直樹(喜高)
- ・梶原 貴史(上小)

【新役員】

- ・会長 萩原 勤(喜高)
- ・副会長 奥 文夫(阿小)
- ・〃 深水辰雄(一中)

【委嘱PTA研究公開校】

早町中学校PTA

町代表を目指して、熱戦
を繰り広げる

第35回大島地区スポーツ少年
団競技交歓大会町予選大会

7月27日(日)に奄美市以
外の11町村で行われる本戦に
向けて、標記町予選大会が火
蓋を切った。



一枚の切符をめぐり、白熱した試合が続いた女子の部

5月11日(日)は、総合開
会式終了後、バレーボール競
技とサッカー競技が行われ、
町代表の座をかけて熱戦が繰
り広げられました。

総合開会式では、本年度か
ら新しい試みとして伝統芸能
の発表が大会要項に組み込ま
れました。これは、七つの活
動領域の一つである文化活動
を充実させようと実施したも
ので、参加者はスポーツ活動
の合間に練習を重ね、各団と
も特色ある発表を披露しまし
た。



中には小道具を使った舞台発表も・・・

【試合結果】

- バレーボール(男子)
- ・優勝 小野津SP
- バレーボール(女子)
- ・優勝 湾少女バレーSP
- サッカー
- ・優勝 湾サッカーSP

社会教育団体の新役員紹介

新年度に入り、各社会教育
団体の総会が次々と開催され
ております。各団体のさらな
る組織の強化と活動の充実を
目指し、新役員が着任しまし
たので、御紹介します。

【町体育協会】

- ・会長 加藤啓雄
- ・副会長 晴永清道
- ・〃 乾 和夫
- ・理事長 積山忠久
- ・副理事長 志武 徹
- ・〃 三山八十三

【町子ども会育成連絡協議会】

- ・会長 羽佐田弘
- ・副会長 中山佳也
- ・〃 梶原貴史
- ・会長 永 房枝
- ・副会長 鎌田純子
- ・〃 碓山千恵子

※鎌田純子副会長の任期は、
規約により前任者の残任期間
(一年)となります。

第14回喜界町生涯学習推進
大会実践事項

昨年12月に第14回喜界町生
涯学習推進大会を開催いたし
ました。各分科会で熱心にご
討議いただき、これから先2
年間の実践事項が決定いたし
ました。町民一人一人の一步
前進がより良い町づくりにつ
ながります。町民一丸となっ
て課題解決に向けて取り組ん
でいきましょう。

第1分科会
〈自立を育む青少年教育部会〉

【実践事項】
地域・家庭・学校において、
子どもが主役となる場を与え、
大人も積極的に協力します。

今月号は、第一分科会で決
定した実践事項を掲載いたし
ました。各家庭や子どもも活
動等で実践しましょう。
次回号は、第二分科会の実
践事項を掲載いたします。

肝炎インターフェロン治療費の助成が始まります

県では、肝臓がん予防のため、肝硬変・B型及びC型ウイルス性肝炎のインターフェロン治療にかかる医療費を助成します。

実施期間

平成20年4月～

平成27年3月末日

助成機関

原則として同一患者につき1ヶ年を限度とする

対象となる医療

B型及びC型ウイルスの除去・治療で保険適用となっているもの

助成対象者の認定

診断書等をもとに、県肝炎治療認定審査会の審査を経て認定されます

患者自己負担限度額

認定患者世帯の所得に応じて、1万円・3万円・5万円（自己負担額を超えた分については公費で負担します）

※詳しいことは、保健センターすこやか（65-3522）へお問い合わせください。

放送大学 10月生募集のお知らせ

放送大学では平成20年度第2学期（10月入学）の学生を募集中です。

放送大学はテレビ等の放送を利用して授業を行う通信制の大学です。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。

働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。

○15歳以上の方なら、1科目から学習する選科履修生・科目履修生として入学できます。

○18歳以上の大学入学資格をお持ちの方なら、無試験で全科履修生として入学でき、4年以上在学して、124単位を修得し卒業すると、学士（教養）の学位を取得できます。

出願期間は8月31日まで。

資料を無料で差し上げています。お気軽に放送大学鹿児島学習センター（099-239-3811）までご請求ください。放送大学ホームページでも受け付けております。

防衛省職員採用 Ⅲ種試験 受検案内（高校卒業程度）

受付期間：7月1日（火）～7月17日（木）

※17日消印有効、必ず配達記録郵便等で提出してください。

試験区分：一般事務、電気、機械、土木、建築

受験資格：昭和62年4月2日～平成3年4月1日生まれの日本国籍を有する者

試験地：鹿屋市ほか（他の地域についてはお問い合わせください）

試験日：第1次試験 9月28日（日）、第2次試験 10月上旬（第1次試験合格者に通知）

問合せ先：防衛省ホームページか役場総務課まで 65-1111（内線15）

鹿児島県出身沖縄戦没者追悼式参列者の募集

第二次世界大戦における沖縄戦で戦死した鹿児島出身者の追悼式に参列を希望される御遺族の方を募集します。

とき 平成20年11月6日（木）

申込期限 平成20年8月29日（金）

ところ 鹿児島霊園（糸満市摩文仁の丘）

問合せ先 役場保健福祉課

対象者 沖縄戦で戦死された方の三親等以内の方

65-1111（内線35）

訂正

広報きかい4月号2ページのグラフに

町債 3億8,090万円
とあるのは

6億 760万円

の誤りです。

お詫びして訂正します。

素人工事をしていませんか？

ワタクシにお任せあれ！



電気工事は 電気工事店へ

家庭や商店などの電気工事は、電気工事士の資格を持った人でなければいけないことになっています。素人が工事をすると、感電や電気火災が発生することにもなり非常に危険です。安全で便利に使用できる屋内配線は、電気工事店に依頼してください。

財団法人 九州電気保安協会

浄化槽の定期検査受検のお願い

(浄化槽の維持管理について)

浄化槽は適正な使用、保守点検、清掃が行われることによって、私たちの生活から排出された汚水を浄化してきれいな水を流すことができる装置です。浄化槽を設置したら、適正な維持管理を行わなければなりません。

(法定検査について)

浄化槽法では適正な使用、保守点検、清掃が適正に行われているか、また、きれいな水が放流されているかを確認する法定検査が義務付けられています。検査は知事が指定した検査機関である(財)鹿児島県環境検査センターの検査員が事前にハガキで通知した検査日にお伺いし、現場での検査と浄化槽の放流水を持ち帰って水質検査を行います。(契約している保守点検業者が行う保守点検とは別のものです。)

これまで11人槽以上と官公署の浄化槽が検査対象となっていました。平成17年度から5～10人槽の家庭用浄化槽も検査の対象とし、今年度においても昨年度に使用開始検査をした浄化槽と、これまで定期検査を受けていない浄化槽について順次検査を行うこととしています。つきましては、検査の趣旨をご理解の上、受検していただきますようお願いいたします。



検査料金	単独処理浄化槽	合併処理浄化槽
定期検査 (5～10人槽)	4,000円	6,000円

(財)鹿児島県環境検査センター
 TEL 099-223-3185
 喜界町役場水環境課
 TEL 65-1111 (内線76)

『社会を明るくする運動』は
 地域みんなの運動

『社会を明るくする運動』は、すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする、法務省主催の全国的な運動です。

●期間
 平成20年7月1日～31日まで

●重点目標
 犯罪・非行の防止と更正の援助のため、地域住民の理解と参加を求める。

●統一標語
 「防ごう犯罪と非行 助けよう立ち直り」

犯罪のない、明るい地域を私たちの手で作り上げていきましょう。

喜界保護司会

会長 重野 泰介

求む！「白ゴマ・ヒメタツナミソウ花言葉」

白ゴマやヒメタツナミソウには「花言葉」がありません。

白ゴマは、喜界島が生産日本一でなので、日本一たくさん白ゴマの花が咲く地域も喜界島なのです。しかし、かわいい白ゴマの花には「花言葉」がありません。

ヒメタツナミソウは、喜界島固有種なので、日本はおろか世界中どこを探しても、喜界島でしか、白く可憐なヒメタツナミソウの花を見ることができません。しかし、可憐なヒメタツナミソウの花には「花言葉」がありません。

もともと花言葉は17世紀のオスマン＝トルコ帝国で始まりました。時とともに花言葉も移り変わり、最近ではイメージの良い言葉ばかりに変わってきているようです。

また、花言葉には、公的な認証機関などはありません。

白ゴマもヒメタツナミソウも、自分に花言葉がないことをさびしがっています。ぜひ、皆さんが「花言葉」を付けてあげてください。選ばれた作品は、喜界町が正式に公認します。(副賞として全国共通フラワーギフト券進呈※5,000円分)

◎応募方法◎

応募様式 白ゴマ・ヒメタツナミソウ、どちらか明記して(両方可)、住所・氏名・年齢・電話番号を明記して、ハガキ、FAX、e-mailにてご応募ください(様式自由)

応募先 ハガキ：〒891-6292 喜界町役場企画課広報係 植村宛
FAX：0997-65-4316 広報係 植村宛
e-mail：koho@town.kikai.lg.jp

締切 平成20年7月11日(金)必着

発表 広報きかい8月号にて紹介します



白ゴマの花



ヒメタツナミソウの花

参 考

他の穀物の花言葉は次のとおり、

稲穂＝「神聖」 蕎麦＝「懐かしい思い出」、「喜びも悲しみも」、「あなたを救う」

小麦＝「富」 大豆＝「親睦」

町花であるリュウゼツランの花言葉は「気高い貴婦人」

お問い合わせ先：65-1111(内線23) 植村まで

カンキツクリーニング病と同様に深刻な害虫

その名は「ゴマダラカミキリムシ」！
みかん木に穴をあけ、枯死させてしまう悪いムシ!!
ゴマダラカミキリムシ買い取り
ます。

1匹 30円

※印鑑を持って産業振興課へ



申告をお忘れなく

税源移譲により所得税率の変更による税負担の軽減の影響は受けて、住民税率の変更による税負担の増加の影響のみを受けた方については、平成十九年度分の住民税額から、税源移譲により増額となった住民税相当額を減額し、納付済の場合は還付

します。

対象と成り得る方は、例えば

出産や病気のため、長期休職されていた方、定年退職された方、自営業で業績悪化のため大幅に所得が減った方、
以上のような方で、平成十九年度分の所得税が課されなかった場合は、この措置の対象になる可能性があります。

申告期間

平成20年7月1日～31日
詳しくは役場税務課まで
65・11111（内線42）

喜界歌壇

さわやかな風吹き渡り野も山も
光あまねし緑の大地

林 蓮香

父が愛でしうぜんかずら雨降れば露をふくみて吾に真向かう

北島 シナ

取り出し孫の写真をまた眺むともに住まねど心は通ふ

有村 道子

卵さへ与えず逝きし幼子の箸先に還る戦後六十年

竹田 ヨシ子

微か吹く風にも揺れて碑の前の
浜屋顔の花の愛しき

平尾 チヨ

小夜更けて仮寝の宿に結ぶ夢な
ぜに幌馬車荒野をいそぐ

屋良 ミノ子

思いつきり怒って笑ってすつき
りと孫と悔い無き四泊五日

美代 イシ

夜間飛行機上に眺む十五夜の月
は上下と舞ふさまに見ゆ

郡 市子

連休明け去りゆく人に声援と指
笛飛ぶ島の空港

弥島 幸子

暮れなずみ点りゆく灯のその先
に山脈ありて富士は墨絵に

武田 幸子

旅立ちの夫を見送る西空に白く
光りて月は残れり

嶺倉 祝子

吉田 光佑 圭志 花良治

基井 心美 義則 上嘉鉄

佐藤 結貴 貴紀 中里

水流 千尋 昌一 中里

山倉 かなな 一展 中里

梅田 華音 隆光 湾

淵脇 純大 泰智 赤連

氏名住所

碓山 貴文 荒木

喜禎 由香 湾

岡本 秀明 中里

久永 理沙 中里

住所氏名年齢

中里 生野 節子 79才

赤連 前島 ミト 100才

花良治 豊島 和治 47才

荒木 前田 福志 76才

小野津 中山 忠元 62才

志戸桶 濱崎 繁秋 77才

赤連 石原美喜男 72才

**いつまでも
お幸せに**

**ごめい福を
お祈りします**

社協だより

志戸桶 南 74才
中 勝谷 スマ 98才
荒木 西田 廣芳 74才
湾 喜島吉久村 82才
ふるさと寄附者
愛媛県 土居 松美 様
(佐手久)

香典返し(敬称略)

浦原 嘉重三
荒木 照シツ
荒湾 豊島 弘行
小野津 櫻井 田鶴子
中野 勝谷 健司
兵庫県 山本 門枝
(花良治)

喜界町の推計人口

(平成20年5月1日現在)

世帯数	3,769戸 (-7)
人口	8,282人 (-12)
男	3,941人 (-11)
女	4,341人 (-1)



ソウシジユ (相思樹)

宋の時代の中国。仲睦まじい夫婦がいたが、時の王がその美しい妻を強引に召し取った。王の目を盗み逢瀬を重ねる二人であったが、やがて露見し夫は殺されてしまう。悲しみに暮れた妻もすぐに後を追った。最期に妻は夫と一緒に葬って欲しいと願ったが叶わず、少し離れた所に葬られた。墓標もないことを哀れみ、誰かが名もなき木を植えたところ、いつしかその二本の木は枝を絡ませあい、ついにはひとつの木になり、番(つがい)の鳥が住みついたという。人々はその木を相思樹と呼んだ。花言葉は「秘密の愛」。

時は移り1945年3月の沖縄。同じ敷地にある第一高等女学校(通称:おとひめ)と女子師範学校(通称:しらゆり)の卒業生へ、校門のソウシジユにちなんで「相思樹の歌」が贈られた。3月29日の卒業式、艦砲射撃による轟音のなか、「わが寮(や)に睦(むつ)みし友よ 忘るるな 離(さか)り住むとも いつの日か 再び会わん」と歌われたが、その詩に込められた願いは永遠に叶わなかった。その3日後の4月1日に米軍が上陸し、「ひめゆりの塔」の悲劇が彼女らを襲うのだ。

10年前、米軍は沖縄占領後に九州侵攻の足がかりとして、喜界島上陸を綿密に計画していたことが当時の米軍資料により明らかにされた。(沖縄戦終了は6月23日)

そしていま、彼女らの生まれ変わりかもしれない綿帽子のような黄色い花は、平和な喜界島で何事もなかったように可憐に咲いている。



デイゴ (梯梧)

沖縄県の花。沖繩鹿兒島は「夢」。ちなみには「アメリカ」。花言葉は「海紅豆」。合格電報は「アメリカ」。



ノアサガオ (野朝顔)

大変珍しい白いノアサガオである。周囲は普通のノアサガオばかりだが、いつの頃からか白いアサガオも咲きだしたという。突然変異か?花言葉は「はかない恋」、「あしたも爽やかに」など多数。恋に破れても明日がある?



ゲットウ (月桃:サネンバナ)

♪奄美なちかしゃ ソテツのかけで 泣けば揺れます サネンバナよ♪ と唄われるが、「花より団子」派が写真を見れば、「ハサームッチー」の匂いが漂ってくるのでは。

花言葉は「爽やかな愛」。食用、薬用、化粧品に用いられる。

ちなみに、喜界島では庭先にあるのはサネンバナではなく、よく似た「クマタケラン」である。こちらの方がムッチーハサーに使われることが多い。

私に怒られたようで恐縮した。「捨てる人、シマ良くできない!」とも話した。なるほど。ポイ捨てる人には、シマの未来を語る資格はないのだろう。大喜慶義さんは、今日も黙々と作業を続ける。(植村)

しかし、ホトトギスの行動は、正しい。何千万年と続いてきた、大自然の摂理といえる。ホトトギスは、遠くインドや中国南部からの渡り鳥だという。さえずりを聞かずに、彼らの旅路や、生存競争の厳しさに、思いを馳せながら、編集作業を続ける。何とシマの環境は「ゼいたく」なのだろう。今回、砂川宅へ直接訪問し、取材をした。講演と同じく、泣いたり笑ったりの取材であったが、途中で砂川さんが怒った。ポイ捨てに対してである。「私と至さんと散歩したら袋一杯ゴミ拾うよ!」。キビ細に囲まれた職場は、窓から、ダイトウウグイス、ホトトギス、セツカ、キジ、イソヒヨドリなど、色んな鳥のさえずりが聞こえる。なかでも「特許許可局」と鳴くのはホトトギスだ。彼らはウグイスの巣に托卵をする。自分の卵を留守中に産んで、ウグイスに子育てを任せると。先に生まれたホトトギスのヒナは、ウグイスの卵を外へ捨ててしまうのだ。